

第1学年

「がっきとなかよくなるろう」

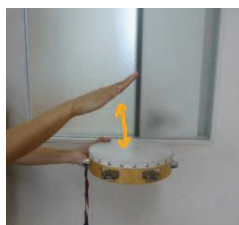
相楽支部 木津川市立城山台小学校 藤井沙織

題材について

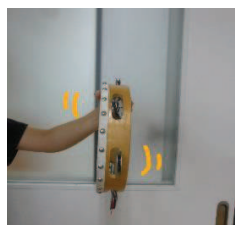
本教材では、「音色」という観点から音楽を表現したり聴いたりする活動をすすめていく。そのため、トライアングルやスズ、ウッドブロックなどの楽器を使って、演奏の仕方によって音色が変化するおもしろさを感じ取ったり、自分の見つけた音色を表現するための演奏の仕方を工夫したりできるよう指導していきたい。

題材の計画

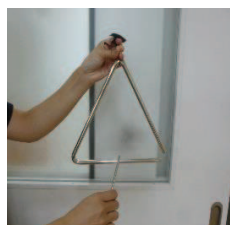
次	時	学習内容	評価基準 【評価の観点】 〈評価方法〉
(一)第 か一 む次	第一時	<ul style="list-style-type: none"> 様々な演奏の仕方を試し、一つの楽器からいろいろな音色を見つける。 選んだ楽器で、いろいろな演奏の仕方を試しながら、気に入った音を探して友達に紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気づいている。 【知識・技能】 〈発言内容・演奏聴取〉



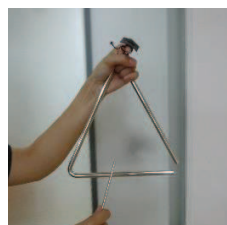
まんなかを うつ



こまかく ふる

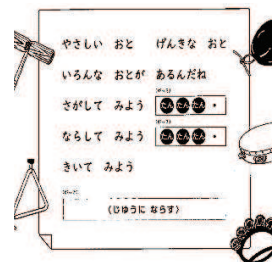


ひびかせて うつ



にぎって うつ

第二次(さぐる・ふかめる)	第一時	<ul style="list-style-type: none"> 様々な演奏の仕方を試し、一つの楽器から色々な音を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気づいている。 【知識・技能】 〈行動観察・発言内容・ワークシート〉
	第二時	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞に合う演奏の仕方を工夫しながら、どのように表現するかについて思いを持つ。 演奏の仕方に気を付けて歌に合わせて演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歌詞に合うように楽器を選んだり表現を工夫したりし、どのように演奏するかについて思いを持っている。 【思考・判断・表現】 〈行動観察・発言内容・演奏聴取〉



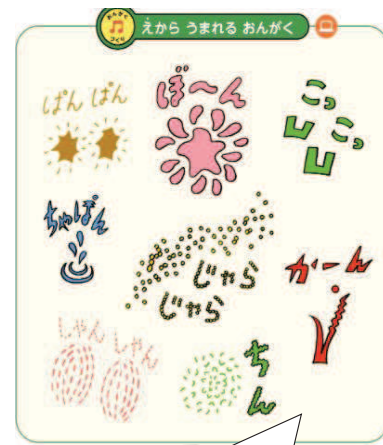
第三次(さぐる・ふかめる)

第一時 (本時)	・絵や擬音語から想像される楽器の音を探し、紹介し合う。	◆いろいろな楽器の音を探し、その中から絵や擬音語に合う楽器の音を見つけている。 【思考・判断・表現】 〈ワークシート・振り返り〉
第二時	・音のつなげ方を工夫し、どのように音を音楽にしていけるかについて思いを持つ。	◆いろいろな音のつなげ方を試し、どのように音を音楽にしていけるかについて思いを持っている。 【思考・判断・表現】 〈発言内容・タブレット〉
第三時	・反復や呼びかけとこたえを用いて音楽を再考し、発表して聴き合う。	◆反復や呼びかけとこたえなどの音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。 【知識・技能】 〈演奏聴取〉

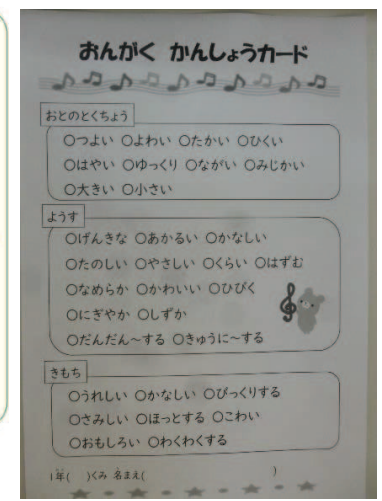
(まどめ) 第四次	第一時	・曲想と楽器の音色やリズムとの関わり に気づく。	◆打楽器の音色や演奏の仕方に興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 〈発言内容・行動観察〉
-----------	-----	-----------------------------	---



絵カードを見て感じたことは？



どんな音かな？
声に出して言ってみよう。



がっきとなかよくなるろう 1年()くみ 名まえ()

- ①えらんだえを、まるでかこみましょう。 ②どんなふうにならしたいか、かいてみよう。

えからうまれる おんがく



- ③えにあうがっきは
 [すず ウッドブロック タンプリン
 トライアングル カスタネット]
 です。
- ④ふりかえり
 ・えにあうがっきの音を見つけることができた。()
 ・見つけた音を、しょうかいすることができた。()
 ・友だちのくふうを見つけることができた。()



絵に合う音を見つける様子



絵に合う音を見つける様子



みつけた音を発表する様子

同じ絵カードを選んでいても、人によっていろいろな楽器の鳴らし方があるね！

見つけた絵に合う音を絵カードごとに発表しました。

成果と課題

【成果】

- ・カードの絵や言葉に合う楽器の音を探す際に、絵を見て感じたことを全体で共有しておくことで児童が音のイメージを持ちやすかった。また、鑑賞カードのことばをヒントにしながら音を探すことができた。
- ・それぞれの楽器の鳴らし方を本時までにはしっかり試しておくことで、一つの楽器でも様々な鳴らし方があることに児童が気づくことができた。また、それらの既習事項を掲示しておき、本時の学習に取り入れることができた。
- ・絵カードのグループごとに発表をさせることで、同じ絵カードを選んでいても選ぶ楽器や鳴らし方は様々であると児童が感じる事ができた。
- ・題材を通して協働的な学びの場面を取り入れたことで、自分とは違う楽器の鳴らし方や表現の仕方があることに気づくことができた。

【課題】

- ・グループ活動を行う意義が十分には見られなかったため、グループで音の鳴らし方を考えたり、アドバイスをし合う時間を取ったりすると、より深まったのではないかと。
- ・発表の際に、数人ずつではなく個々の発表にすると、一人一人が選んだ楽器や鳴らし方の違いをより全体で共有することができたのではないかと。
- ・評価について、発表する場面のみを評価するのではなく、思いや考えを表現する記述欄を増やしたり、動画を活用したりしながら、題材全体を通して評価していくようにしたい。
- ・グループで演奏の仕方を考えるときに、全員の意見をしっかり出し合えずに主張の強い児童の意見に決まってしまう場面があった。今後も互いの意見を尊重しながら活動を深めていく姿勢を育てていきたい。